

平成28年10月17日

町民の皆様へ

幌延町長 野々村 仁

## JR北海道の事業範囲の見直しに対する意見募集について

寒露の候、住民の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から行政の推進に対しましては、ご支援ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、新聞報道等によりご承知のとおり、JR北海道（北海道旅客鉄道株）は経営が非常に厳しいことから、鉄道事業の抜本的な見直しが欠かせないとして「地域特性に応じた持続可能な交通体系のあり方」について、地域に相談していく方針を公表しました。

相談内容の要点として①安全な鉄道サービスを持続的に維持するための費用確保、②鉄道事業が適している（維持すべき）線区か、他の交通機関が適している（維持困難な）線区かの検討、の2点について線区毎に地域協議会等の場を設け相談をすすめるとのことです。

これまでJR北海道が①に係る経費節減策として実施し又は実施しようとしている案件で幌延町に係るものでは、普通列車の減便、工務系職員配置の再編（保線職員の集約）、特急列車の運行見直し、が挙げられますが、今般、「極端に利用の少ない駅の廃止」について、JR北海道から幌延町に対し具体的に糠南駅・南幌延駅・下沼駅の廃止に向けた提案がありました。

また、②の線区（路線）についても、JR北海道が単独で維持可能な線区か否か、今後、JR北海道としての考えを示すことを公表しています。

町では、これらに係る今後の対応への参考とさせていただきたいと考え、皆様からのご意見、ご要望、アイデア等を募集しますのでよろしく願いいたします。

### 記

1. 利用の少ない普通列車の減便について（平成28年3月実施済み）  
町とJR北海道が契約して町民乗車票の発行による対応  
（町民乗車票➢プラス10円で特急列車の利用が可能）
2. JR北海道の保線職員の集約について（平成28年3月実施済み）  
稚内・音威子府・名寄保線管理室に工務系統業務を集約。町の影響11名。
3. JR北海道の特急列車の運行見直しについて（平成28年5月提案）  
稚内～札幌間のスーパー宗谷2本と特急サロベツ1本の計3本のうち2本が稚内～旭川となり、（上り：朝、昼、下り：昼、夕の便）札幌へ行くには旭川で乗り換えが必要となる。
  - ・ 利便性低下の対策・
  - ・ 乗換は同じホーム
  - 乗車困難を回避するよう座席数を確保
  - 所要時間は直行と同じようにする
  - 料金体系も同じようにする

裏面に続きます

#### 4. JR北海道の事業範囲の見直しについて（平成28年7月公表）

JR北海道＜島田社長＞の記者会見

経営状況が厳しいので、単独で維持可能な線区と単独での維持困難な線区について、沿線自治体（協議会）と協議検討を予定している。

＜JR北海道が報道発表している概要＞

「持続可能な交通体系のあり方」に関する地域への相談について

- 「安全な鉄道サービス」を持続的に維持するための費用をどのように確保していくか。
  - ア 設備の見直しやスリム化、利用の少ない駅の廃止や列車の見直しによる経費節減
  - イ 運賃値上げによりお客様に応分の負担をしていただく方法
  - ウ 沿線の皆様に日常的に鉄道をご利用いただく利用促進策
  - エ 運行会社と鉄道施設等を保有する会社とに分ける上下分離方式
- 「単独で維持可能な線区」と「単独では維持することが困難な線区」についての考えを秋口までに示す予定。
- 「当社単独で維持可能な線区」についても、事業のスリム化など効率化を図るほか、運賃改定などを行うことで維持していく方針。

#### 5. 極端に利用の少ない駅の廃止について（平成28年8月提案）

幌延町は6駅が1日1人以下の利用であるとして、6駅が廃止駅の対象となっており、糠南、南幌延、下沼駅について平成28年度末の廃止に向けた提案があった。

↓

JR北海道から極端に利用の少ない駅の廃止の提案があったが拙速すぎ、対象となっている3駅は秘境駅としての認知度も高く、町としても総合戦略の事業計画への影響や住民の移動に対する影響などの検討が必要。

・参考までに対象駅のおおよその負担額（単位：千円）

駅名	管理経費	備考
糠南	450	除草、除雪、乗降場修繕費、駅設備検査、ホーム検査、電気検査、光熱水費
南幌延	517	
下沼	624	
計	1,591	

※詳細は、今後、JR北海道との協議により決定される。